

松村浩行特集上映



# 量への抵抗

12 / 22  
S U N.

宇宙映画上映会  
vol.4  
京都大学西部講堂

たくさんの死に抗して。

イスラエルの虐殺により、パレスチナでたくさんの人が死んでいる。

スマホを開けば、たくさんの死んだ人の映像を目にすることになる。

はじめはみんな憤っていた。もちろん今も憤っている。それでも、だんだん目は麻痺してくる。

たくさんの死は、戦争は、虐殺は、日常になっていく。

そうやってたくさんの「死」のイメージに慣れきった私たちにとって、

松村の映画を見ることは、「たくさんの」が忘却させる「ひとつの」のイメージに向き合うことだろう。

繁茂し、流れゆく映像の中で留まること。

上映する松村の4本の映画はどれもが似ていないにも関わらず、そこには一貫した世界への態度を見ることができるはずだ。

ユーモアの風とともに。



### よろこび

1999年/32分/16mm→DV  
監督・脚本=松村浩行 / 撮影=居原田真美 / 編集=筒井武文  
出演=遠山智子、西山洋一、内田文、万田邦敏ほか

「リズム社」に勤めるアオシギは、ドラムを叩き続け、一定のリズムを生産することで賃金を得ている。アオシギの前席に新たにやってきたダイゴは、太鼓を乱打し、去ってゆく。リズムの破壊はアオシギへと波及し、彼女が同調的なリズムから離れて向かうのは.....。鋭く政治的でありながら、ユーモアに溢れた監督デビュー作。



### YESMAN/NOMAN/MORE YESMAN

2002年/70分/DV  
監督・編集=松村浩行 / 撮影=秋元エマ  
ドイツ語監修=渋谷哲也  
出演=Felix Owusu、永野雄太、凌雲風ほか

ブレヒトが謡曲『谷行』に着想を得て執筆した教育劇「イエスマン」、その批判となる「ノーマン」および改稿版「イエスマン」を三部構成で映像化。研ぎ澄まされた俳優の運動が能を思わせる。独特の発話形式により言語は異化され、反復の中の差異が「了解する」とは何かを観客に問い続ける重要作。



### つかの間の秘密さ海の城で〜水無月蜜柑試篇

2005年/23分/DV  
監督・撮影・編集=松村浩行 / 編集・整音=黄永昌  
出演=あがた森魚、田口昌由、渡辺ゆきこ

シンガーソングライター、あがた森魚の北海道ツアーに同行し撮影された短編ドキュメンタリー。歌声を削除し字幕テキストに語らせる手法は音楽ドキュメンタリーというジャンルに挑んで実験的だが、リハーサルやライブの合間の物言わぬ日常と風景を捉えたショットには、思考を超えた静謐な美しさが宿っている。



### TOCHKA

2008年/93分/DV  
監督・脚本=松村浩行 / 撮影・衣装=居原田真美  
編集・録音・整音・劇中写真=黄永昌  
出演=藤田陽子、菅田俊ほか

北海道の荒涼とした海岸沿いに点在する戦争遺跡・トーチカ。その暗闇のなかで、開口部から外を眺める女。そこを訪れたのはトランクを抱えた男。徐々に語られていく2人それぞれの記憶と、トーチカに刻まれた時間、かつて見られたであろう風景は重なり合い、また闇へと消えていく。海の向こうの「死」の映像に慣れきった私たちが、今こそ見つめるべき映画。

### タイムテーブル

- 12:30 開場
- 13:00 よろこび (32min)
- 13:45 YESMAN/NOMAN/MORE YESMAN (70min)
- 15:00 トーク  
松村浩行監督  
行田洋斗 (映画研究者)
- 16:00 つかのまの秘密さ海の城で  
〜水無月蜜柑試篇 (23min)
- 16:30 休憩
- 17:00 TOCHKA (93min)
- 18:40 トーク  
松村浩行監督  
海老根剛 (大阪公立大学大学院文学研究科教授)

予約不要・入場料無料・途中入場自由

### おむすび祭 omusubi sai

あたたかな食べもの、ほっこりな飲みもの、優しいお値段であります。

- ・会場に駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。
- ・当日、会場は相当の寒さが予想されます。暖かい服装でお越しください。

X : @spacemovie\_



E-mail : spacemovie@gmail.com

主催：宇宙映画上映会

協力：映画美学校・京都大学映画メディア合同研究室

飲食物提供：おむすび祭 会場設計：笹谷匠生

投射機材提供：ナカジマシン 音響：小山琴泉 (浮世←奈落)

テキスト：工藤由晶・山本葉波 フライヤーデザイン：谷安珠・工藤由晶



### アクセス

〒606-8317

京都府京都市左京区吉田本町  
京都大学西部講堂